

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・当店にとって最も稼ぎ時の夏がやってくる。きめ細かく、更に大胆な品ぞろえをして、追い風の勢いにも乗って、更に高いところを目指したい。
	やや良くなる	百貨店（売場主任）	・7月から本格的なお中元も始まり、夏のセールも大々的に始まる。特に今年の夏は暑いということで非常に期待している。メンズではクールビズが定着し、おしゃれな男性の提案ができるので、多くの客が来店する。
		スーパー（統括）	・1人当たりの買上点数が増え、1点当たりの単価の上昇がみえてきたので売上は見込める。ただし、原料の値上げが報道されている商品については、周りの状況次第ということがあるため、利益は取れない状況である。
		ゴルフ場（従業員）	・単価は横ばいで推移し、競争は激化すると見込んでいるが、来客数は徐々に増えているので、今後はやや良くなっていく。
		その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・UFOキャッチャー、そのほか、商品の内容に工夫したところは、やはり数字が上がっている。客のニーズをくみ取ることができると、それだけ数字が変化していくので、工夫の仕方によっては全体的な底上げが充分期待できる状況にある。
		美容室（経営者）	・長期の天気予報では7～9月は暑くなるので、髪を短く切る人が多くなる。最近髪が短い人が目に付く方向なので、美容院は忙しくなる。
		住宅販売会社（経営者）	・実際は良くなると思っているが、ここにきて企業の格差の広がりを感じている。出店する企業があれば、かたや廃業する企業もあり、不動産を買えるところは買えるが、買えないところは買えない。
	変わらない	商店街（代表者）	・一部夏商品の動きは良いが全般に財布のひもは固い。
		商店街（代表者）	・7、8月の2か月は大きなイベントがあるので、来客数もかなり良くなる。
		一般小売店 [精肉] (経営者)	・原材料の不足で、いろんなものが少しずつ値上がりしてきている。小売価格に影響してくると、客の財布のひもは一層締まる。
		百貨店（営業担当）	・今の客の動き、様子を見てみると、あまり消費意欲がなく、物欲というよりモノよりコトヘシフトしているので、変わらない。
		百貨店（販売促進担当）	・ショッピングセンター出店の影響は1年たつまではかなりあるとみている。夏物商戦もヒット商品が不在で、重衣料よりも軽衣料の売行きが良いため、客単価が上がっていない。猛暑が続くそうなので、夏物衣料の売行きは良いと思うが、単価が上がらない分、売上も苦戦すると見込んでいる。
		百貨店（販売促進担当）	・昨年と比較し、紳士服、婦人服を中心に特にヒット商品や売れ筋商品が出る傾向がなく、売上増につながらない。
スーパー（販売促進担当）		・3月より3か月間好調基調を継続しており、現状競合出店もないなかで、今後2～3か月は良いままで変わらない。	
コンビニ（店長）		・バイパス道路など周辺の道路事情が良くなり、気軽に街から出て行く消費者が増加しているが、来街者は減少し続けている。物販店の来客数、客単価は減少の一方で、街中が再生する前に既存店はほぼ消滅してしまいそうである。	
乗用車販売店（従業員）		・大型イベントも予定しているが、今の状況が続くようだと経費倒れとなり、増販につながるとは思えない。また、再度人員体制の見直し等による経費削減をしなければ経営は困難となってしまう。	
乗用車販売店（営業担当）		・客への訪問件数を今までより多く実施しているが、厳しい内容、状況が続いている。	
高級レストラン（店長）	・好調不調の波が激しく、業績が安定しない。依然として先行きは不透明感で一杯である。		
一般レストラン（経営者）	・一部原材料の値上げ等により、多少客単価は上昇しているが、利益を考えるとほぼ横ばいである。		
観光型ホテル（スタッフ）	・今年の夏期シーズンは比較的早い時期から団体営業がうまく当たり、それなりの団体入込を見込める形を作ることができたが、その分比較的単価の高い個人客が減るので、結果としては売上的大幅増とはならない。現状を見る限り、集客数は多少の増と思われるが、売上は例年並み程度である。		
旅行代理店（従業員）	・夏休みの家族旅行の予約状況は平年並みである。		

	旅行代理店（副支店長）	・企業等については、先行きは良くならない見通しである。個人客については、きのこなど農家の収穫次第であるが、天候によるので今のところ良くなるとも悪くなるとも言いがたい。ただ、燃油高騰は農家にとっても少しずつダメージが広まることは間違いないので、良くなるとは思えない。
	タクシー運転手	・値上げで売上の落ちたタクシー会社が、再度値下げしたため、影響が懸念される。
	ゴルフ場（副支配人）	・ゴルフ場も二極化が進んでいる。当ゴルフ場は入場者が大体前年並みでなかなか増加が見込めず、単価は若干下回るくらいで推移している。入場者を大幅に増加させているところは、価格競争に成功しているということなので、必然的に単価は下がっているが、合理化を進めているので、総体的な売上としては若干内容が好転しているのではないかと思われる。向こう3か月においても、入場者は確保できて売上もそれに伴うのかというのは疑問が多い。まだ価格競争も続いている。
	競輪場（職員）	・他の競輪場の入場者数、発売金額にほとんど変化が見られない。
	設計事務所（所長）	・目立った動きはないが、大事な収穫期なので依頼は増えている。良い方向に向かっているので、成果につながるよう努力したい。
	設計事務所（所長）	・6月20日に建築基準法の改正があり、仕事が非常に難しい状況になっている。当社の場合は影響が少ないが、全体としては建築行為に関して本当に難しい状況になってきている。
	住宅販売会社（経営者）	・市内駅前引き続きマンション建築ラッシュで、郊外の戸建の新築も増加傾向にはあるが、競争相手が多く、顧客獲得には至らず、変わらない。
	住宅販売会社（従業員）	・景気だけが要因ではないが、受注の伸び悩みが顕著になってきており、現状維持が精一杯である。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・大型店は人が入っているが、地方の小売店にはほとんど人が入っておらず、景気が良くなる材料が見当たらない。
	百貨店（総務担当）	・山間部の商店街の立ち遅れ、それに伴う都市型の大型店の進出により、山間部から都市部への移行がかなりあるようで、売上が減少している。
	スーパー（統括）	・ガソリンの高騰や、定率減税の廃止が給与明細で直接的に増税感として感じられるなどのフィスカルドラッグを始め、バイオエタノールに起因するマヨネーズや食用油の値上等、消費意欲を減退させる要因が今後ますます増えることが予測される。
	衣料品専門店（店長）	・年金問題や円高懸念による社会不安が購買意欲に反映して、少しずつ厳しくなる。
	住関連専門店（仕入担当）	・原材料の高騰による商品原価の上昇、あわせて中国製品の還付率引き下げによる値上げは必至の状況で、商環境としては悪くなると予測している。
	一般レストラン（業務担当）	・中元受注は前倒し傾向が強く、6月は前年比5%程度超だが、7月は恐らく前年を10%程度下回る。納涼会の宴会予約も昨年を下回っており、夜の宴会で酒を飲む客が減っているため、売上は前年を下回る。
	都市型ホテル（経営者）	・市内産業、工業が頭打ちのなか、大手ホテルチェーンが開業して客の取り合いとなり、価格競争に陥ってあまり良い方向には向かわない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・ビアホールなどの季節営業は、人件費や材料費、更にアルバイト採用に掛かる経費と研修期間が必要なことなどを念頭に置くと、決して大勢の客が来たなどと喜んでばかりもいられないのが実情で、3年ほど前から休止している。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・客は最低限での修理を望んでおり、付加価値は求められないため、これ以上良くなるとは思えない。
悪くなる	コンビニ（店長）	・道路交通法が大幅に改革されて、通行量は非常にスムーズになったが、当店と商店街の駐車場が少なく、車を止められないために来客数が減っており、どんどん売上は悪くなる。
	観光型ホテル（スタッフ）	・2～3か月後の予約状況が伸び悩んでいる。また、客単価、来客数も伸び悩んでいる。
	都市型ホテル（スタッフ）	・これから来春に掛けて新しいホテルが5店舗ほど進出し、約800室前後増える予定なので、かなり厳しく、非常に脅威となる。自己資本での客室改善、設備増をかなり進めないと追い付いていけないような状況である。
企業	良くなる	-

動向 関連	やや良くなる	一般機械器具製造業 (生産管理担当)	・建設機械分野において、秋口から増産の情報があり、自動車分野も試作関連が動き出してきていることから期待している。
	変わらない	食料品製造業(営業統括)	・最近のユーロ高、ドル高、オーストラリアドル高等の影響で輸入ワインの価格上昇が考えられ、国産品への移行が進むと思われるが、急激な増加は期待薄である。
		化学工業(経営者)	・生産はまずまず順調に行きそうではある。ただ、石油関連の原料の値上げがまだ止まっていないので心配はしている。
		電気機械器具製造業 (営業担当)	・受注量が大幅に増える見通しが今のところない。そのほか、ガス、ガソリン、銅、ステンレスの値上がり、また値上げ要請もあり、悪影響が予想される。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	・今非常に好調なので、これ以上良くなるとは思えないが、取引先の様子、受注単価等から、このまま今年一杯は変わらずに良い調子で行く。
		輸送業(営業担当)	・天候予測から夏物家電、飲料水などの動き、出荷量が多いようだが、燃料価格の上昇などを考えると利益的には幅も少なく、厳しい業界であることは変わらない。
	経営コンサルタント	・長期計画に基づいて設備投資を行ってきた物流関連や、企業再生に取り組んできた生活関連サービス業、地元進出の大手製造業の下請関連企業などに業績上昇が期待される。ただし、消費関連の小売業、サービス業では淘汰が進みそうである。	
やや悪くなる	食料品製造業(製造担当)	・早めに単価設定を変えることができればよいが、できなければ相当きつい状態になる。スーパー側はいまだに値下げを言ってくる始末である。	
	不動産業(管理担当)	・来月から既存テナントの増床計画はあるものの、5月末で退去したテナントの分をカバーするまでには至らない。また、築年数経過による小規模の補修工事が重なるため、経費負担が増える予定である。	
悪くなる	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・素材関係では、円安に伴いアルミ関係の材料が値上がり傾向に入っており、またそれを溶解するガス、LPG関係も円安によって転換が押し上げられている。そういったなかで、製品の値上げがままならないため、収益は悪化していき、賞与も減らさざるを得ないといった状況である。	
	建設業(総務担当)	・公共工事受注形態が大幅に見直されたため、競争業者が大幅増となってしまっている。競争入札も最低価格割れで失格業者が続出、建設業として存続するのが難しい状況になってきている。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所(職員)	・建設業関係から、仕事量が増えてきたとの声が聞かれる。
	変わらない	求人情報誌製作会社 (経営者)	・一頃から見ると求人募集広告の依頼は1割くらい落ちているが、9月にかなり大きなショッピングセンターがオープンするので、これに伴って雇用が発生し、いくらか人の動きが出て上向く。
		求人情報誌製作会社 (経営者)	・小売業、サービス業などは夏物商戦に入り、パート、アルバイトの募集が通常多くなる時期ではあるが、例年に比べて求人募集件数が少ない傾向にある。
		職業安定所(職員)	・技術者、有資格者については、恒常的な人手不足が強く、また、経験者に対するニーズも高くなっている。ただし、求人活動の水準から見れば落ち着きが出てきている。
		職業安定所(職員)	・新規求職者数は前年同月比で8.1%増加している。事業主都合による離職者がやや増加している。
		職業安定所(職員)	・求人数自体は大幅に減少することはないが、新規求人数の2割強を派遣求人が占める状況は、今後も変わらない。
		学校[短期大学](就職担当)	・企業側は思うような人材獲得ができずに長期戦を覚悟しているところもあり、学生側にとってのチャンスは例年より多いが、チャンスを生かせるかどうかは学生の意識が伴えばの話である。
	やや悪くなる	民間職業紹介機関(経営者)	・けん引する製造業において、中堅以下の企業は受注残があり、忙しい企業も多いが、大手企業は一部を除いて今年度下期の明るい話が見当たらなくなっている。
悪くなる	-	-	